



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 兼松エンジニアリング株式会社
コード番号 6402 URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佃 維男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部門執行役員 (氏名) 中野 守康

TEL 088-845-5511

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,879	8.8	448	14.5	459	14.2	314	21.5
28年3月期第2四半期	4,484	11.8	391	24.9	402	23.9	259	28.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	56.63	—
28年3月期第2四半期	46.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,007	4,160	52.0
28年3月期	7,804	4,027	51.6

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 4,160百万円 28年3月期 4,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当21円00銭
平成29年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当21円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	0.6	809	0.3	830	0.3	540	0.0	97.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	5,564,000 株	28年3月期	5,564,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	5,214 株	28年3月期	5,214 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	5,558,786 株	28年3月期2Q	5,558,832 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
4. 補足情報	P. 9
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、円高による輸出の低迷や、夏場の天候不順による個人消費下押し圧力があつた一方で、政府の経済対策もあり、生産活動全般では持ち直しの兆しがみられ、雇用・所得情勢も堅調に推移する等、総じていえば横ばい圏内で推移しました。

当第2四半期累計期間は、地域による若干の差は見られたものの、総じて需要は安定し、加えて短納期対応車の販売も順調に進展し、引き続き活発な生産活動を維持いたしました。

受注残高につきましても、海外案件は減少したものの、官公庁・高速道路会社の入札案件やレンタル会社等からの大口案件もあり、前第2四半期累計期間末を更新し、引き続き高水準で推移しております。

その結果、前第2四半期累計期間に比べ増収・増益の結果となりました。

業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は428百万円増の5,253百万円(前年同四半期比8.9%増)、売上高は394百万円増の4,879百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。損益につきましては、営業利益は56百万円増の448百万円(前年同四半期比14.5%増)、経常利益は57百万円増の459百万円(前年同四半期比14.2%増)、四半期純利益は55百万円増の314百万円(前年同四半期比21.5%増)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末残高に比べ203百万円増加し、8,007百万円となりました。これは主に、売上債権の減少194百万円等はありませんでしたが、たな卸資産の増加228百万円及び現金及び預金の増加161百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ69百万円増加し、3,847百万円となりました。これは主に、未払金の減少176百万円等はありませんでしたが、仕入債務の増加187百万円及び前受金の増加108百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ133百万円増加し、4,160百万円となりました。これは主に、剰余金の配当183百万円はありませんでしたが、四半期純利益の計上314百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、484百万円(前年同四半期は使用した資金363百万円)となりました。これは主に、たな卸資産の増加228百万円及び法人税等の支払額149百万円等はありませんでしたが、税引前四半期純利益の計上459百万円、仕入債務の増加197百万円及び売上債権の減少195百万円等によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、142百万円(前年同四半期は得られた資金236百万円)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出143百万円等によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ39百万円増加し、179百万円(前年同四半期比27.8%増)となりました。これは、配当金の支払いによるものであります。

従いまして、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、前事業年度末残高に比べ162百万円増加し、1,079百万円(前期比17.7%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日の平成28年3月期決算発表時の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,670,561	1,831,939
受取手形及び売掛金	2,455,901	2,261,457
商品及び製品	210,451	409,441
仕掛品	869,445	879,421
原材料及び貯蔵品	243,290	262,716
繰延税金資産	139,497	137,053
その他	20,916	30,947
貸倒引当金	△4,696	△1,130
流動資産合計	5,605,368	5,811,845
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	490,721	476,051
土地	1,254,363	1,254,363
その他(純額)	193,985	212,344
有形固定資産合計	1,939,070	1,942,759
無形固定資産	71,696	65,437
投資その他の資産		
繰延税金資産	73,730	71,224
その他	119,804	120,946
貸倒引当金	△4,921	△4,321
投資その他の資産合計	188,614	187,849
固定資産合計	2,199,381	2,196,046
資産合計	7,804,749	8,007,892

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,688,147	2,875,160
未払法人税等	160,054	154,024
賞与引当金	210,000	291,280
役員賞与引当金	70,760	4,735
製品保証引当金	38,000	40,000
その他	434,201	293,731
流動負債合計	3,601,163	3,658,931
固定負債		
退職給付引当金	167,038	178,991
その他	9,470	9,470
固定負債合計	176,508	188,461
負債合計	3,777,672	3,847,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	3,360,199	3,491,563
自己株式	△1,828	△1,828
株主資本合計	4,028,091	4,159,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,014	1,043
評価・換算差額等合計	△1,014	1,043
純資産合計	4,027,077	4,160,499
負債純資産合計	7,804,749	8,007,892

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,484,499	4,879,404
売上原価	3,349,205	3,638,092
売上総利益	1,135,294	1,241,312
販売費及び一般管理費	743,715	793,127
営業利益	391,578	448,184
営業外収益		
受取利息	88	30
受取賃貸料	8,671	8,790
その他	2,683	2,858
営業外収益合計	11,444	11,679
営業外費用		
為替差損	339	—
その他	8	23
営業外費用合計	348	23
経常利益	402,674	459,840
特別利益		
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	—	18
特別損失		
固定資産売却損	—	18
固定資産除却損	87	68
特別損失合計	87	86
税引前四半期純利益	402,587	459,772
法人税、住民税及び事業税	181,401	139,955
法人税等調整額	△37,933	5,012
法人税等合計	143,468	144,967
四半期純利益	259,119	314,804

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	402,587	459,772
減価償却費	63,910	67,446
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△403	△4,165
賞与引当金の増減額(△は減少)	100,000	81,280
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,092	△66,025
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2,000	2,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,117	11,952
受取利息及び受取配当金	△621	△563
売上債権の増減額(△は増加)	△391,406	195,044
たな卸資産の増減額(△は増加)	△388,481	△228,390
仕入債務の増減額(△は減少)	119,762	197,525
その他	△93,915	△82,457
小計	△221,543	633,419
利息及び配当金の受取額	621	563
法人税等の支払額	△142,526	△149,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363,449	484,393
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	340,293	—
有形固定資産の取得による支出	△82,233	△140,964
無形固定資産の取得による支出	△16,885	△2,980
その他	△4,386	1,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	236,787	△142,516
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△140,472	△179,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,472	△179,517
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△267,133	162,359
現金及び現金同等物の期首残高	983,113	917,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	715,979	1,079,659

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、セグメントごとに記載していません。

当第2四半期累計期間における生産実績、受注実績及び販売実績を製品の品目ごとに示すと、次のとおりであります。

① 生産実績

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,159,234	△4.9
高压洗浄車	875,019	+42.3
粉粒体吸引・圧送車	154,560	+149.4
部品売上	407,138	+3.7
その他	282,486	+0.9
合計	4,878,438	+4.4

- (注) 1 生産高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。
2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車の生産等が主なものであります。

② 受注実績

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,538,944	+14.9	3,419,484	+7.8
高压洗浄車	770,359	+6.8	595,655	+0.1
粉粒体吸引・圧送車	—	—	104,811	△33.8
部品売上	407,138	+3.7	—	—
その他	537,009	+3.5	490,025	+7.6
合計	5,253,451	+8.9	4,609,976	+5.2

- (注) 1 受注高及び受注残高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。
2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車及び修理改造等の受注が主なものであります。

③ 販売実績

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,187,029	△2.9
高压洗浄車	942,923	+65.1
粉粒体吸引・圧送車	113,388	+427.4
部品売上	407,138	+3.7
その他	228,925	+5.7
合計	4,879,404	+8.8

- (注) 1 販売高には、消費税等は含まれておりません。
2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車の販売及び修理改造等が主なものであります。